



平成26年

2月22日[土]

13:30 開演 / 12:30 開場

佐倉市民音楽ホール

佐倉能

屏風絵師アラン・ウエスト作の掛け軸六幅連作の日本画を背景に
天女が舞う幽玄の世界へ

解説

アラン・ウエスト

屏風絵師アラン・ウエストが
語る能「吉野天人」

狂言

鐘の音 小笠原 匡

能

吉野天人 橋岡 久太郎



佐倉市民
音楽ホール

千葉県佐倉市王子台1-16
[電話] 043-461-6221

◎アクセス /
京成大学駅南口徒歩5分

◎入場料 / 全席自由 5,000円

◎チケット販売 / 佐倉市民音楽ホール・京成佐倉駅前しづや
裏面の申込み書をFAX、またはメールでもお申し込みいただけます。
[FAX] 043-488-3553 [MAIL] noh@catv296.ne.jp

お問い合わせ / [電話] 043-463-0840 / 080-9991-5500

主催：子どもの心を豊かにする会 後援：橋岡會
共催：佐倉市民音楽ホール 協賛：DIC川村記念美術館

能

シテ 橋岡久太郎 大鼓 高野 彰 太鼓 徳田宗久

吉野天人ワキ 安田 登

アイ 小笠原匡 小鼓 古賀裕己 笛 藤田太郎

橋岡伸明 宮内美樹 荒木 亮
後見 梅若雅一 地謡 小出年彦 梅若修一
坪内比路之 宮下 功 岡田晃一

能「吉野天人」あらすじ

都の人が、吉野山の桜を見ようと出かけてきます。山奥深く分け入ると、一人の女が現れます。不審に思い尋ねると、この辺りに住む者と答えますが、いつまでも帰る様子がなく、都人と一緒に花を楽しんでいます。都人が怪しむと、自分は天人であると明かし今夜ここに滞在して信心すれば、五節の舞をお見せしようと約束して姿を消します。やがて夜になると、不思議なことに虚空に音楽が聞こえ、天人が天より降りてきて、世にも美しい舞を舞い、又花の雲に乗って消え失せます。



九世橋岡久太郎

4歳で初シテ「老松」（日本芸術院会員七世橋岡久太郎、八世橋岡久馬との親子三大初共演）6歳で初シテ能「合浦」以後、「鷲」「道成寺」をはじめ大曲、秘曲等数々の能を勤める。8歳で欧州7か国公演以降31都市で海外公演を勤め、昨年、在ウィーン日本大使館主催世界博物館、在ウィーン国際機関日本政府代表部での公演を成功させる。能楽本来の伝統を守りつつ、新作能や、他ジャンルとの舞台活動にも、積極的に参加し、小中高等学校等での能楽教室にも力を入れる。2009年、2010年千葉県教育を元気にする有識者会議委員。佐倉市在住。

狂言

鐘の音 小笠原匡

狂言「鐘音」あらすじ

主人は召使い（＝太郎冠者）に、鎌倉へ行つて「かねのね」を聞いて来い、と云い付け使いに出します。召使いは円覚寺・極楽寺など鎌倉の寺々を巡り、「鐘の音」を聞き比べて報告しますが、主人は褒めるどころか怒りだし、その訳を尋ねてみると。

解説者・屏風絵師 アラン・ウエスト



8歳で油絵を描き始める。カーネギーメロン大学芸術学部在学中に、ボランティア団体に身を置き、日本に派遣されたことがきっかけに日本画の技法と出会い、画家として活動する。1999年、谷中に画廊兼アトリエ「繪処アランウエスト」を構え、日本画・屏風絵・掛軸などを手がける。近年、谷中・根津・千駄木といった下町の人気が高まる中で、美術の杜・上野とその隣接の下町で行われる美術イベント「Blink」上野・谷中にも毎年出品し、特に下町を拠点とするアメリカ人日本画家としてマスコミに取り上げられることも多くなっている。

申込み書

下記をご記入の上、043-488-3553 までFAXください。

申込み枚数	代表者氏名
枚	住所
	電話番号 - -